

【食育推進のための取り組み（分野別事業数）】

A 家庭における食育の推進

分野 記号	A-1	望ましい食習慣の確立	26事業
	A-2	妊産婦や乳幼児に対する食育の推進	6事業
	A-3	食に対する感謝の気持ちの涵養	9事業
	A-4	男女共同参画を踏まえた食育の推進	2事業

B 学校・保育所等における食育の推進

分野 記号	B-1	子どもの発達段階に応じた食育の推進	18事業
	B-2	保護者への普及啓発	7事業
	B-3	給食を通じた食育の推進	10事業
	B-4	高校・大学等における食育の推進	2事業

C 地域における食育の推進

分野 記号	C-1	食育推進運動の展開	8事業
	C-2	食育推進に係る人材の育成・支援	8事業
	C-3	関係団体・事業者等の連携による食育の推進	8事業
	C-4	職場における食育の推進	1事業

D 農林水産業とのふれあい、地産地消の推進や食文化の継承と振興

分野 記号	D-1	農林水産業の体験・交流活動の推進	7事業
	D-2	地産地消の推進	6事業
	D-3	食文化の継承と振興	10事業

E 食の安全・安心の理解と推進、環境との共生

分野 記号	E-1	食品の安全性に関する知識と理解の推進	6事業
	E-2	環境との共生	7事業

F その他（分野記号:F）	6事業
---------------	-----

※新規(26年度調査時に未掲載であったもの)

No.	イベント等概要	
1	イベント等名	食の子ども探検隊(一日食品衛生監視員体験)
	開催日	平成27年7月下旬
	主催者	保健所生活衛生課
	内容等	【目的】 普段よく利用するスーパーマーケットで、食品を取扱う人たちはどのように食品を管理し、どのように提供しているのか等を一日食品衛生監視員として実際に監視してもらい、食品の安全性に関する知識や関心を高める。 【主な対象者】 小学生 【内容】 食品衛生監視員の業務内容及び食品衛生についての説明 手洗いチェッカーによる衛生的な手洗いの確認 スーパーマーケットの売場及びバックヤードの監視 等
2	イベント等名	食の安全フォーラム等
	開催日	平成27年10月
	主催者	保健所生活衛生課
	内容等	【目的】 いわき市の食品安全対策等について、消費者、生産者、食品事業者及び行政が、意見交換及び情報を共有することにより、信頼を高める。 【主な対象者】 消費者、生産者、食品事業者等 【内容】 食の安全に関するトピックスについて、講話及び意見交換会を行い、消費者、生産者、食品事業者等の関係者相互間のリスクコミュニケーションを図る。
3	イベント等名	食育インフォメーション
	開催日	平成27年6月中の一週間(5日間)
	主催者	保健所地域保健課
	内容等	【目的】 市民の食生活に関する相談等を行い、食育の推進に寄与する。 【主な対象者】 市民 【内容】 パンフレット等の掲示及び、健康相談。
4 ※	イベント等名	食育フェスタ
	開催日	平成27年9月5日
	主催者	保健所地域保健課
	内容等	【目的】 市民の食育の取り組みを支援する。 【主な対象者】 市民 【内容】 体験型食育コーナーの運営
5 ※	イベント等名	いわき野菜アンバサダーセミナー
	開催日	定期的(月に1回程度)に開催
	主催者	いわき市 農林水産部 農政課
	内容等	【目的】 消費者自らによる積極的な情報発信を促進させるため、“いわき産農林水産物の応援大使”を募集し、いわき産農林水産物に関する基礎知識を学ぶセミナーを開催 【主な対象者】 情報発信が可能な消費者 【内容】 いわき産農林水産物の特徴などをパワーポイントを使い紹介 受講者にはいわき野菜アンバサダー認定書を発行

※新規(26年度調査時に未掲載であったもの)

No.	イベント等概要	
6	イベント等名	いわき産品塾
	開催日	平成27年8月(予定)
	主催者	一般社団法人 いわき観光まちづくりビューロー
	内容等	【目的】 新商品の開発、商品の磨き上げ、さらには、新たな販路の獲得に向け、首都圏における流通・取引事情に詳しいバイヤーなどを講師として招聘し、地元事業者に対して、個別に商品指導等を行い、宣伝・消費拡大を図る。 【主な対象者】 消費者、生産者、販売業者等 【内容】 市内物産品(農・水産物及び加工品、菓子等)の開発・販売
7	イベント等名	いわきの食
	開催日	平成27年11月(予定)
	主催者	一般社団法人 いわき観光まちづくりビューロー
	内容等	【目的】 首都圏での本市物産の取扱いの推進及び風評払拭を図る。 【主な対象者】 消費者、生産者、販売者 【内容】 本市で採れた食材や特産品を使用した「食」のイベントを開催する。
8 ※	イベント等名	「和食給食」交流会食会
	開催日	平成27年9月下旬
	主催者	学校支援課
	内容等	【目的】 地元料理人考案の「和食給食」を小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、食に対する関心を高め、日本の伝統的な食文化の伝承と普及につなげる。 【主な対象者】 地元和食料理人(未定)、久之浜第一小学校児童、教育委員会、学校給食調理担当 【内容】 地元料理人から小学生向けに、献立作成に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め日本の伝統的な食文化の大切さを学ぶ。
9 ※	イベント等名	「フレンチ給食」交流会食会
	開催日	平成27年10月中旬
	主催者	学校支援課
	内容等	【目的】 地元シェフ考案の地元の食材を使用した「フレンチ給食」を小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、子どもたちの好き嫌いをなくすきっかけをつくるほか、地域に根ざした食文化、地域への理解につなげる。 【主な対象者】 Hagiフランス料理店シェフ 萩 春朋氏、藤原小学校児童、教育委員会、学校給食調理担当 【内容】 地元シェフから小学生向けに、献立作成に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め地域に根ざした食文化について学ぶ。

※新規(26年度調査時に未掲載であったもの)

No.	イベント等概要	
10	イベント等名	「かじきカツ給食」交流会食会
	開催日	平成27年11月下旬
	主催者	学校支援課
	内容等	【目的】 県立いわき海星高校の実習船「福島丸」が水揚げしたかじきを地元の加工業者が加工した「かじきカツ」を全小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、食に対する関心を高め、感謝の気持ちを育む。 【主な対象者】 いわき海星高校生徒、内町小学校児童、加工業者、教育委員会、学校給食調理担当 【内容】 海星高校生徒から小学生向けに、漁に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め感謝の気持ちを育む。
11	イベント等名	磐農生が考える「まごわやさしい給食」交流会食会
	開催日	平成27年12月中旬
	主催者	学校支援課
	内容等	【目的】 県立磐城農業高校の生徒が考えた「まごわやさしい給食」を小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、食に対する関心を高め、日本の伝統食材の大切さを学ぶ。 【主な対象者】 磐城農業高校生徒、渡辺小学校児童、教育委員会、学校給食調理担当 【内容】 磐城農業高校生徒から小学生向けに、献立作成に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め日本の伝統食材の大切さを学ぶ。
12	イベント等名	磐城農業高校のオリジナル食材使用の交流会食会
	開催日	平成28年1月下旬
	主催者	学校支援課
	内容等	【目的】 県立磐城農業高校の食品加工実習で製造した地元食材を使用した「梨ジャム」や「トマトジュース」を小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、食に対する関心を高め、感謝の気持ちを育む。 【主な対象者】 磐城農業高校生徒、中央台東小学校児童、教育委員会、学校給食調理担当 【内容】 磐城農業高校生徒から小学生向けに、食品加工に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め感謝の気持ちを育む。
13	イベント等名	親子ふれあい弁当デー
	開催日	平成27年度中 年1回～数回
	主催者	学校支援課
	内容等	【目的】 食に対する感謝の気持ちの涵養 子どもの発達段階に応じた食育の推進、保護者への普及啓発 【主な対象者】 全児童生徒・保護者 【内容】 小中学生が家族や地域とふれあいながら自分の弁当作りにかかわり、家族と一緒に自分がかかわった弁当を学校に持ち寄ることで、みんなで「食」について考えたり家族とのかかわりの大切さを実感する機会を創出できるように、各学校にて計画・実施する。

※新規(26年度調査時に未掲載であったもの)

No.	イベント等概要	
14	イベント等名	公民館事業とのタイアップ
	開催日	平成27年度中 数回
	主催者	公民館
	内容等	【目的】 核家族化や共働きなどライフスタイルの変化、ニーズの多様化に伴い、外食・中食・ファーストフード等の利用が増えるなど食習慣の乱れが問題となっている現在、学校と家庭と地域のかかわりを広げる場としての公民館活用など、学校食育推進事業として位置付けていく。 【主な対象者】 幼児から高齢者まで 【内容】 公民館活動に合わせ、学校給食や学校における食育活動に連携するような事業にかかわっていく。
15	イベント等名	食育講演会
	開催日	平成27年度中 1回
	主催者	学校支援課
	内容等	【目的】 生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むのが食育の目的であり、地域の人すべてを対象とした講演会を開催することによって学校のみならず、市民の食育を推進する事業として位置付けていく。 【主な対象者】 保護者 【内容】 食全般に関する講演会を開催することにより、学校・家庭・地域の連携と、それらを世代へつなげることのきっかけとなるような講演会を開催し、食育の環を広げていく。
16 ※	イベント等名	平成27年度食育に関する意見交換会
	開催日	平成27年6月2日(火)
	主催者	農林水産省東北農政局いわき地域センター
	内容等	【目的】 いわき地域における食育ネットワークの継続的な活動と情報の共有化を図る。 【主な対象者】 食育を推進する団体や個人、消費者等 【内容】 ①食育活動報告(いわき農商工連携の会) ②食育講話(上級食育指導士) ③施設見学(生木葉ファーム) ④質疑・意見交換等
17 ※	イベント等名	県産農林水産物の安全・安心実感ツアー
	開催日	未定
	主催者	福島県
	内容等	【目的】 消費者の県産農林水産物に対する安全性の理解促進と安心感を醸成する。 【主な対象者】 親子 【内容】 未定
18 ※	イベント等名	ふれあい農園
	開催日	平成27年5月、9月、平成28年3月(予定)
	主催者	いわき農業青年クラブ連絡協議会
	内容等	【目的】 野菜作りを通して消費者が農業者と交流し、農業への関心と理解を深める。 【主な対象者】 いわき市内在住者 【内容】 農業青年クラブ員(農業者)の助言のもと、消費者自らがプランター等の野菜栽培を体験するとともに、野菜を使った料理教室等を実施し、消費者と農業者の交流を深める。

※新規(26年度調査時に未掲載であったもの)

No.	イベント等概要	
19	イベント等名	いわき野菜deチョコベジ
	開催日	平成27年6月、10月(予定)
	主催者	JAいわき市、野菜ソムリエコミュニティ福島
	内容等	【目的】 チョコベジの試食により、いわき産野菜への理解と消費拡大を図る。 【主な対象者】 いわき市内在住の小学生親子 【内容】 野菜ソムリエによる旬の野菜のママ知識講座やチョコレートと合わせて野菜を味わう「チョコベジ」体験により、野菜本来の味や食感を知ってもらう。
20	イベント等名	ふれあい農業講座
	開催日	平成27年5月、7月、8月、10月(予定)
	主催者	いわき農業青年クラブ連絡協議会、玉露保育所
	内容等	【目的】 生産者との交流により園児に農産物(さつまいも)を作る楽しさと収穫の喜びを味わってもらうことを目的とする。 【主な対象者】 玉露保育所園児 【内容】 農業青年クラブ員(農業者)の助言のもと、野菜栽培を体験するとともに、収穫物の調理を通して園児との交流を深める。
21	イベント等名	田んぼの学校
	開催日	平成27年5月下旬～平成28年2月 予定(通年)
	主催者	福島県いわき農林事務所 農村整備部
	内容等	【目的】 地域の未来を担う子どもたちが「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食・命の大切さ」について理解を深め、豊かな感性と深い見識を持つことを目指して、農村地域の重要な要素である田んぼ、水路、ため池等において自然環境を遊びと学びの場として活用した体験型学習を行う。 【主な対象者】 いわき市立草野小学校5年生 【内容】 開講式・田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭、修了式

食育モデル事業実施要領

1 概 要

健康づくりや食文化の継承など、食に関わる多様な主体(行政・家庭・学校・地域・企業等)の相互の連携・協力を促進し、それぞれの活動分野で行われている取組みに新たな「つながり」を創出・展開することにより、地域特性を生かした食育を推進する。

また、本市計画については、概ね5年程度(平成26年度～30年度)をその期間としており、食育モデル事業を通し、食育を効率的かつ効果的に推進していくための基本となる本市計画の施策の方向性等との整合性を加味しながら事業を展開する。

なお、モデル事業については、予算措置の必要性を充分に見極めながら、状況に応じた対応について随時、協議・検討しながら進めていくこととする。

2 基本的な考え方

- (1) モデル事業については、その分野に関係する主体(団体等)が相互に連携・協力しながら、継続した取組みが可能であり、全市的な取組みへと展開が図れるような事業を構築・実施する。
- (2) モデル事業については、事業実施に係る課題や事業の効果等を検証しながら、食育推進委員会及び食育庁内推進会議における分野・組織横断的な協議を踏まえ、効果的・効率的な展開を図る。
- (3) モデル事業の取組みを市民に情報発信し、全市的な取組みとして展開されるよう、市ホームページや、いわき地域情報総合サイト等の広報媒体を活用し、随時、モデル事業の活動内容等を公表する。
- (4) モデル事業の構築・実施にあたっては、原則として既存事務事業等の見直しや予算組み替え等も考慮する。

3 平成27年度食育モデル事業

上記の基本的な考え方を踏まえ、27年度の食育モデル事業については、別紙事業の実施に向けて、今後、詳細な協議等を進めていくこととしたい。

なお、事業の終期については、本市計画における計画期間(30年度まで)を念頭に、その効果等を検証しながら設定することとする。

平成 27 年度 食育モデル事業

「朝食を食べよう」料理講座

～きれいな女子、できる男子は朝食から～

プロから教わる幸せ運ぶ朝食レシピ

忙しい！ 面倒くさい！ 時間がない！ 食べる習慣がない！

そんなあなたに、教えてあげたい。

朝ごはんを食べて女子力・男子力UP！！

1 目 的

朝食を欠食することは、生活習慣病の発症、脳内エネルギーの不足、基礎代謝、身体リズム、脳内物質の分泌への悪影響などが危惧されていて、朝食を摂取することの重要性については一般的に理解されているところだが、第2次食育推進計画策定時の現状値は、「朝食を欠食する市民の割合」が、青年期Ⅰ（19～29歳）36.4%、青年期Ⅱ（30～39歳）25.3%という値であり、計画の数値目標を平成30年度までに青年期Ⅰ（19～29歳）は30%以下、青年期Ⅱ（30～39歳）は20%以下を目指しているところである。

また、いわき市の健診統計データによると、男性は30歳代後半から肥満者が増加傾向であり、20代後半の女性の約29%がやせであるが、朝食を摂ることはこのどちらの実態にも是正効果が期待できる。

このことから、青年期を対象とした料理講座を開催し、朝食を摂取する契機を作り、食習慣の中に朝食を位置付けていただけるよう支援する。

なお、実施した内容についてはホームページに掲載し、参加できなかった市民にも啓発できるようにする。

2 対 象 者

市民（青年期）

3 会 場

いわき市総合保健福祉センター 3階 栄養指導室

4 事業内容

市内の飲食店のシェフを講師に、プロの技を取り入れた、手軽に楽しくできる朝食メニューの調理実習を3回（和、洋、軽食）開催する。

5 募集人員

1回30人

6 講 師

和食：美味しいもん屋わ多なべ 渡邊 達也 氏

洋食：イタリアンレストラン テラッツア 星 真帆 氏

軽食：パティスリー ペールノエル 永久保 大樹 氏

7 日 程

第1回 平成 27 年 10 月 4 日(日) (和食)

第2回 平成 27 年 11 月 3 日(火) (軽食)

第3回 平成 28 年 2 月 7 日(日) (洋食)

各回とも午後 1 時～3 時 30 分の予定

8 周知方法

広報いわき及び市公式ホームページに掲載

9 参 加 費

無料

10 申し込み方法

電話、ファックス、Eメールとする。申込多数の場合は抽選とする。

年度	事業名	内容	事業展開
H22	本庁 8 階食堂メ タボリックシン ドルーム対策メ ニュー提供事業 (全 3 回)	①脂肪分をカットした食材の選択 ②夏バテ防止に配慮したヘルシーメニュー ③栄養のバランスと減塩に着目したメニュー	
	食育フォーラム 「成長期の子ど ものスポーツと 栄養」～私たち の体は食べ物で 決まる！～講話 及びパネルディ スカッション	①講話：講師・福島県立医大、鈴木順造氏 ②パネルディスカッション 「スポーツをするために何をする？」 コーディネーター：保健所長・新家利一 助言者：福島県立医大・鈴木順造氏 パネリスト：鈴木歯科小児歯科院長・鈴木広幸氏、いわき市教 育委員会事務局保健体育課指導主事・小野則夫氏、いわき市立 平第三中学校栄養教諭・赤津由紀子氏	
H24	伝統食材を楽し く作ろうおいし く食べよう講習 会（全 6 回）	①味噌作り体験 講師：小川地域振興協議会小川の郷「食の文化祭」実行委員 会・田村憲子氏 ②梅干作り体験 講師：小川地域振興協議会小川の郷「食の文化祭」実行委員 会・田村憲子氏・荻野澄子氏・國井眞由美氏 ③さんまのみりん干体験 講師：福島県漁業協同組合連合会・渡辺氏・高木氏、福島県 漁協女性部連絡協議会志賀氏他 2 名 ④こんにゃく作り体験 講師：いわき地区生活研究グループ連絡協議会渡辺味の会渡 辺地区会長遠藤みどり氏 ⑤凍み大根作り体験 いわき地区生活研究グループ連絡協議会柏葉会会長永山シゲ ヨ氏、副会長永山篤子氏 ⑥調理実習 講師：いわき地区生活研究グループ連絡協議会柏葉会会長永 山シゲヨ氏、副会長永山篤子氏	
	お弁当コンテス ト	部門：小学校下学年、小学校上学年、中学生 応募総数：741 点 1 次審査：書類審査 2 次審査：1 次審査通過者より、 各部門毎に最優秀賞、優秀賞を 1 点ずつ選定	H25 年より (株)マルトで 実施

H25	『自立食！おいしい！私ごはん』	モデル校として、湯本高等学校にて実施：調理実習及び栄養講話 ①調理実習、対象者：湯本高校 1 年 3 組の生徒 40 名 講師：いわき市健康推進員小松実千江氏・永山宏子氏 ②栄養講話、対象者：湯本高校 1 学年の生徒 280 名 講師：福島大学、中村恵子氏	いわき総合高校にて、いわき市健康推進員協議会が実施
		～プロから学ぶ料理のコツ～（全 2 回）：16 歳～青年期対象 市内の飲食店のシェフを講師に迎え、調理実習を行う。 ①家庭できる和食 講師：お食事処一膳、作山喜苗氏 ②家庭でできる洋食 講師：レストラン kitao 北尾博水氏	
H26	要援護高齢者を持つ家族のための料理講座	健やか・幸せ・長寿食！料理教室 ～食べて作る元気な力～ 高齢者の栄養確保のための調理の工夫についての講話及び実習（全 3 回）	
H27 予定	朝食を食べよう！料理講座	プロから教わる幸せ運ぶ朝食レシピ ：青年期（19～39 歳）対象 市内飲食店シェフを講師に迎え、調理実習を行う ① 和食 ② 洋食 ③ 軽食	

第2回 いわき・わくわく・食育フェスタ 実施要領

～食育は楽しみながら～

1 目 的

第2次いわき市食育推進計画（平成26～30年度の期間計画）では、「周知から実践へ」をコンセプトに、生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進、生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進、家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進を重点課題とし、市民が食に関する様々な体験活動を行うとともに、自らの食育推進のための活動を実践することで食に関する理解を深め、生涯食育社会の構築を目指している。

このことから、市民一人ひとりが食の大切さを見直し、食に関する正しい情報を適切に判断する力を養い、健全な食生活を実践していくため、食育の重要性について理解を深め、かつ、主体的に実践していくための動機を促し、家庭で取り組める事例が理解できる機会を設け、食育の実践を支援する。（この事業は平成26年度から実施）

また、来場者に行うアンケート調査項目には、家庭での食育の具体的な取組内容を網羅し、家庭での食育の実践を把握する。

2 対 象 者 市民（入場無料）

3 会 場 いわき市総合保健福祉センター

4 内 容（詳細別紙）

テーマは「食育は楽しみながら」とする。

(1) 食育講演会

(2) 「笑顔がごちそう」フォトコンテスト

(3) 食育無料試食会

(4) 食のフレンドパーク ～楽しい食の経験を！～

① お口と栄養のコーナー

② 学校給食交流コーナー

③ 農林水産物コーナー

④ 野菜ぴったり 350g チャレンジコーナー

⑤ 食事時の塩分確認コーナー

⑥ 食に関する絵本コーナー（読み聞かせタイム）

⑦ 食を学べる展示コーナー

食育推進計画啓発コーナー

5 従 事 者 地域保健課職員、いわき市健康推進員、福島県栄養士会いわき支部会員他

6 日 程 平成27年9月5日（土） 12:00 ～16:00

7 周知方法 ポスター作成、送付
広報いわき及び市公式ホームページに掲載
公共機関等の窓口等へチラシ配布

内容

(1) 「みんなが主役！いわきの食育講演会」

子どもの未来を創る・大人の人生を豊かにする食！

あなたの身近な食のスペシャリストのお話！！

食に関する理解を深め、市民自らが食育の担い手であることに気づき、日々の生活の中で自ら実践することが食育を推進し、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむことにつながることを啓発する。食育の主役は市民一人ひとりということが認識できるよういわきの食育に関与している市内講師に依頼する。

講 師：Hagi フランス料理店シェフ ^{はぎ} 萩 ^{はるとも} 春朋

農林水産省 料理マスターズ

演 題：「いわきの生産者がくれた料理人へのプレゼント」

会 場：1 階 多目的ホール

その他： 講演中は、1 歳児から入学前のお子様について事前申し込みによる預かり保育を口腔保健室に於いて実施。ボランティア保育士 3 人に保育を依頼する。

(2) 「笑顔がごちそう」フォトコンテスト

食卓で、台所で、店先で、畑で、公園で、いろいろなシーンの中で食と笑顔が写っている、人と食をテーマにした写真を事前に市民から募り、フェスタ開催当日展示及び表彰式を行う。

写真を通し、応募した方だけでなく、作品を見る方も楽しいことが食育の原点であることを再認識していただくことをねらいとする。

応募資格 いわき市内居住者

応募締切 8 月中旬

募集方法 ポスター、パンフレット、ホームページに募集内容を掲載
応募用紙（1 点につき 1 枚）に必要事項を記入の上、六つ切または A 4 サイズのプリントした写真に貼付し、保健所地域保健課あて郵送等にて募集。

・デジタル画像はカラープリント（光沢紙）で応募。

画像処理したものは不可とする。

・応募用紙はいわき市ホームページからもダウンロード可とする。

選考基準 食に関連したものと笑顔が写真の中にあること

受賞作品は 1 人 1 作品までとする。

選考方法 審査員による書類審査

審 査 員 保健所長、地域保健課長、食育推進委員会委員他

結果発表 本人通知。（郵送及び電話）

また、市ホームページにおいても発表するとともに、報道機関への投げ込みも行う。

表彰式 食育フェスタ当日、多目的ホールで表彰状及び記念品の授与を行う。

最優秀賞	1 人	(5,000 円相当記念品)
優秀賞	5 人	(2,000 円相当記念品)
グッドスマイル賞	20 人	(1,000 円相当記念品)

*作品の展示場所は1階 正面玄関付近

その他 ・応募作品は、未発表のものに限る

- ・応募用紙及び写真は返却しない
- ・応募にかかる費用は応募者の負担とする
- ・取得した個人情報は、このコンテストに係る業務以外で使用することはしないこと。
- ・フォトコンテストにおいて特に記載のない限り、応募作品は応募者本人が著作権を有するもの、または権利者から事前に使用承諾を得たものとする。
- ・被写体の人物には、事前に承諾を得るなど、肖像権の侵害等が生じないよう応募者本人の責任において確認していただくこと。

(3) 「食べてみて！おいしい給食レシピ」

家庭で簡単に調理できる、学校給食の好評メニューや保育所給食の食物アレルギー児も他児と一緒に喫食することができるメニューを、実際に試食していただき、体感することでの気づきを促すとともに、レシピを配布し家庭での食事に活用していただく。

メニュー 学校給食：ガルビュールスープ（フレンチ給食メニュー）
 保育所給食：プアマンケーキ（アレルギー対応メニュー）
 各 200 人分

場 所 3階 栄養指導室

提供時間 12：00 ～ 15：00

(12：00 より整理券を正面玄関付近にて配布する)

(4) 食のフレンドパーク ～楽しい食との経験を！ レッツチャレンジ～

① お口栄養のコーナー

食することは生きることであり、口腔機能が食することと関連性が深く、重要であることを理解していただき、家庭で実践できることを確認していただく。

② 学校給食交流コーナー

どの年代層にも認知度が高い学校給食。学校給食のおいしさの工夫や、栄養バランス等について理解していただき、家庭で活用していただく。

③ 農林水産物コーナー

アグリファイブとのふれあい、農林水産物に関するクイズなどを通し、いわきの農産物を知っていただき、食に関する環境を理解していただく。

④ 野菜ぴったり 350 g チャレンジコーナー

1 日に摂取する望ましい野菜の量である 350g を、実際に用意した野菜の中から自由に選び、350g の量を当てていただく。ピタリ賞のかたには景品を用意する。

家庭で野菜をどのくらい摂取しているか、分量となるとあいまいな方が多い。このコーナーで、自ら選んだ実物を計量し、再確認しながら、楽しく取り組めるような設定で、自分の、家族の食生活と比較するとともに、野菜の摂取と健康管理について理解し、実践へとつなげていただく。

⑤ 食事の塩分確認コーナー

平成 24 年度のいわき市の死亡数を死因順位別にみると第 1 位は悪性新生物で、第 2 位は心疾患、第 3 位は脳血管疾患であるが、心疾患、脳血管疾患を併せた割合は全死因のうち 29.8% にも及ぶ。

高塩分摂取の食習慣が疾患の起因及び重症化の要因の一つであることから、来場者に実際の食事での塩分摂取量を、クイズ形式で理解していただき、家庭での減塩の工夫を推進していただく。

また、和食の基本である「だし汁」を実際に試飲していただき、おいしく減塩する工夫も啓発する。

⑥ 食に関する絵本コーナー

展示

絵本の中で食に関することが登場するものや、食育に関するものを展示し、自由に手にすることができるようにする。

読み聞かせ (担当 ボランティア保育士)

絵本の読み聞かせタイムを設けるなどし、親子で楽しい時間と空間を共有することを経験し、実際の家庭の食の場面においても意識していただく。

⑦ 展示コーナー

食育推進計画啓発コーナー

食育推進ボランティア団体紹介コーナー

食育リーフレット、レシピ等の展示

いわき市の現状や目標を認識していただき、市民の実践の重要性を理解していただくとともに、行政が行っている食育事業を理解していただき、家庭との連携を図る。

媒体を通しての気づきを促し、実践へのリーフレットなどは手軽に持ち帰れる媒体であることから、家庭での自分の家族への実践へとつなげていただく。

いわき市保健所

第2回 笑顔がごちそう” フォトコンテスト 作品募集

テーマ ～ 食と笑顔 ～

食卓で、台所で、店先で、畑で、公園で etc、いろいろなシーンの中で、食、食に関わるものと笑顔が写っている写真をいわき市内に居住している方から募集します。写真撮影の技術を競うものではなく、食の楽しさが伝わるような作品で、皆で笑顔を共有しようというコンテストです。お気軽にご応募ください。

☆応募サイズ カラーA4 サイズ、または六つ切り（約193×244 mm）

デジタル画像はカラープリント（光沢紙）で

☆応募期間 平成27年6月10日～8月10日

☆賞 最優秀賞（1名様）、優秀賞（5名様）、グッドスマイル賞（20名様）
賞状及び記念品

☆発表 表 平成27年8月下旬予定、入賞者には直接連絡します。また、市ホームページにも掲載いたします。
表彰式は平成27年9月5日（土）総合保健福祉センターにて行います。

（同日会場では食育フェスタが開催され作品も展示します。）

応募上の注意

- ・応募作品は、未発表のものに限ります。
- ・応募用紙及び写真は返却しません。
- ・応募にかかる費用は応募者の負担とします。
- ・デジタル加工等、画像処理したものは審査対象から除外します。
- ・取得した個人情報は、このコンテストに係る業務以外で使用いたしません。
- ・フォトコンテストにおいて特に記載のない限り、応募作品は応募者本人が著作権を有するもの、または権利者から事前に使用承諾を得たものといたします。
- ・被写体の人物には、事前に承諾を得られたものとし、肖像権の侵害等が生じないよう応募者本人の責任において確認してご応募ください。



第1回 最優秀賞作品
「食べるって楽しいな」

* 作品ごとに、下の応募用紙に必要事項を記入のうえ、作品の裏面にセロハンテープで貼り付け下記ご住所にご郵送ください。

〒973-8408 いわき市内郷高坂町四方木田 191、いわき市保健所 地域保健課 電話 27-8594

応募用紙

切り取り線

(フリガナ)		男性・女性
氏 名	(歳)	
住所 〒		
電話番号	携帯番号	
作品タイトル		
コメント		